

「楽しそう」にしくちゃ仕事でない

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今月は「「楽しそう」にしくちゃ仕事でない」について考えたいと思います。

私の人生は、いつも逆境から始まっています。まず、7歳の時、父が亡くなりました。貧乏になりました。

大学卒業後あこがれの中京テレビに入社しました。

13年働きましたが、一度も希望の部署で働く事はできませんでした。35歳の時、当社に入社しました。これはすさまじい逆境でした(内容は多く語りません)。

そして、今、100年に一度の不況であります(今度の不況は大変そうです)。

それぞれの逆境を何とか乗り越えてきましたが、一つ心がけている事があります。それは、「**楽しそうに生きているように見せる**」という事であります。

「トムソーヤの冒険」の一節で、いたずらばかりしているトムソーヤに罰としてペンキ塗りをさせたとこ、彼があまりにも楽しそうにペンキ塗りをしていると、見ていた子供たちがおもちゃやお菓子と引き換えにペンキ塗りをさせてくれと頼むシーンがあります。もし、トムソーヤがつらそうにペンキ塗りしていたら、子供たちに、はやしたてられていたでしょう。

私にとっていつも気にしている、一番重要な事は、「楽しそうに見えるか」です。楽しそうに仕事すれば、まわりも楽しくなるし、自分も楽しくなります。3Kに見える仕事は、楽しそうにするだけで尊敬されますし、へたをすると感動すらされます。

「気の毒に」と言われるより「楽しそう」と言われて笑っていたい。

大変な猛暑になりそうな気配ですがご自愛ください。



代表取締役社長 吉田治伸